

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成25年8月 後援会事務局発行 市政だより

No.
五十号記念



おかげさまで10年、これからもぶれずに活動!

○地域活動から議員へ

自治会、公民分館、PTA、民生委員など、長年の地域活動経験を活かし10年前に保守系市民派無所属議員として豊中市議会議員に転身。

それまでの民間経験や事業体験とともに地域活動から現場を知る「即戦力議員」として「政治は結果とスピード」を掲げ取り組んできました。

○政治信条は 地域からこの国を変えよう

民主主義と資本主義経済(現在の体制)を守り発展させることを目的とし、市民の安心と安全、幸せ実現を最大の目的とした保守系・市民派無所属議員です。

そのため特定の利益団体や政党の支援を受けることはありません。また、豊中市政に対しては是々非々の立場で議会チェックに取り組み、政策提言型会派の「新政とよなか議員団」に所属しています。

今後とも「政治は結果とスピード」を第一とし、ぶれることなく取り組んでまいります。

実現した主な施策の一部(時系列順です)

- ❖ 開発者負担金の廃止を実現し、市内での住宅分譲価格(マンションも含む)の低下を実現。
- ❖ 千里コラボ建設で施設配置の見直しや多目的スペース、交通弱者専用駐車場の設置を実現。
- ❖ 企業立地促進条例を提案し実現。塩野義製薬(千人規模の創薬研究所)、北陽電機(自動制御機器)、ニトリ(家具・生活用品販売大手)など企業進出につながり雇用や税収の増加が実現。
- ❖ 学校耐震化のスピードアップを率先して要請。とりわけ市民の避難場所にもなる体育館を最優先に取り上げ実現。校舎についても平成27年度に全市ほとんどの学校で耐震工事完了。
- ❖ 特定の団体が市施設内に既得権化していた自販機約100台を市の管理に変更させることで市の大きな収入源を確保。
 - ❖ 市立豊中病院でのジェネリック医薬品使用率向上要請で市民負担軽減と保険財政改善に貢献
- ❖ 危険老朽家屋をなくし「まちづくり」に資するため除却費補助を提案し実現。(P2参照)
- ❖ 照明のLED化を積極的に提言し、億単位の経費縮減とCO₂の大幅削減を達成。(P4参照)
- ❖ 地域自治推進条例を提言し実現。東丘小校区が市内第一号となり現在取り組み中。(P3参照)

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281

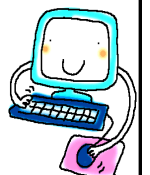
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

福岡正輝 ホームページもごらんください

<http://www.fukuokamasaki.com>

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。

また、「市政だより」に掲載出来ない詳細部分はブログで公開しています。



【福岡まさき】

活動日記

「本領発揮」の場面到来に感謝

長年住み慣れたUR都市機構「新千里東町団地」に大きな転機が来た。建設から40年以上が経過し、いくつもの問題が顕在化。中でも全体戸数の約4割を占める高層住宅が耐震性能に問題があり、建て替えることが決定した。

建て替えは当事者だけの問題ではなく他の居住者にとってもプラスになることは勿論、安心につながる事が大切だ。

少子・高齢化が急速に進む中、子育て機能や高齢者支援施設の導入は欠かせず、自治会が長年要請してきた構想の実現は画期的と言える。しかし、実現へのハードルはあまりにも多く困難が予測される。今、居住者意志の結集や地域住民の協力、URの理解や国の補助制度の活用、更に市をどう動かせるかが最大の課題で、実現すれば地域だけでなく千里ニュータウンの住民や市の施策にも大きく貢献することになる。

私自身のこれまでの地域活動や条例制定などで施策の実現につなげた経験と影響力を最大限行使し、地域の方々と一緒に取り組みたいと考えています。

5月議会の個人質問が実現

5月議会はこれまで「役選議会」とも呼ばれ議長や各議員の所属委員会などを決定するだけで、3月から9月までの半年間は個人質問はありませんでした。こうした不自然な状況を改革するため、中蔵前議長のもと議会運営委員長として取りまとめ全員の賛成を得て実施が決定されました。

一方で理事者や多くの職員を拘束し、コストのかかる議会の開催が市の利益に貢献するためには反対のための反対や質問のための質問とならぬよう、議会の一層のレベルアップと成果が求められます。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

「除却費補助」でまちづくり

今回は、「まちづくり」条例の一部として成立させたものを取り上げました。それは豊中市内にある7戸に1戸といわれる空き家や危険老朽家屋を減少させることで豊中市の住宅環境都市としての魅力の向上とイメージアップを図り都市経営の強化策とすることです。このたび成立した制度は、市域南部の庄内・豊南町地区を網掛けし旧耐震基準(昭和56年5月以前)で建築した木造住宅の建て替えに除却費を補助しようとするものです。(家屋により1/3~2/3を補助)

この施策を進めることで全市域の1/8を占め467ヘクタールともいわれる全国でも最大級の過密密集地帯の改善や市内での住宅環境格差の解消。更に住宅環境都市としてのイメージアップに資すれば幸いです。

尚、財政的な問題もあり一部地域での限定的な内容となりましたが、全市的な問題として機能するような制度の改正は今後の課題だと考えています。

また、この制度が有効に機能し地域の活性化につなげるためには、複雑な申請や事務手続きに精通し、豊富な情報をもつ事業者の協力が欠かせません。数多く実施することでノウハウの蓄積とスピード化、ビジネスモデル化することが重要で、行政や私に課された役割は益々重要となってきました。



「いろいろブログ」



他市との連携で・・・コツコツ

豊中、吹田両市にまたがる東寺内地区のマンション開発で必要となる約300mの歩道について、地元自治会（吹田市）と関係者の依頼を受け、豊中市と連携し完成したことは以前にご報告しました。

今回、その延長部分で用地買収や技術的難易度から先送りされていた区間が同じ協力関係にあった人々との連携と努力により事業着手が決定しました。これによりこの市道沿いの歩道は一部を除いて完了となり、学童を含む歩行者の安全に大きく寄与することになります。

このような他市にまたがる案件は、両市の住民や当局の調整が難しく、時間がかかりましたが、議員としての役目が果たせたことを嬉しく思います。

何よりも地域住民の方々の地域をよくしたいという熱意に、敬意を表したい。

（詳細はブログに掲載）

「地域自治」二年目の動き

「地域のことは地域で」の基本のもと昨年成立した「地域自治システム」の第1号が新千里東町（東丘小校区）です。

地域にはそれぞれの目的を持った様々な団体が活動しています。こうした団体間の連携や「地域力」「市民力」を活かした地域の活性化により、より良い「まちづくり」に取り組むのがこのシステムの目的です。

昨年は初めての取り組みでもあり、地域への周知や理解に時間を要したところもありましたが、2年目の今年は地域の課題解決や将来のあるべき姿など、積極的な取り組みがはじまりました。それにしても献身的努力で「地域自治」に取り組む多くの方々に心よりの感謝とお礼を申し上げたいと思います。

・その他には・・・

- 4/29 千里こどもカーニバル
- 5/26 「公共インフラ」今後の課題
- 6/13 豊中市私立幼稚園PTA大会
- 6/15 「雨降り」こんなに嬉しいとは
- 6/26 質問から「ネーミングライツ」
- 8/8 「行政視察」市政にどう生かす

みんなでつくる「アジサイロード」

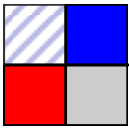
新千里東町こぼれび通りのアジサイも今年で7回目の花を咲かせました。花の時期にはカメラの被写体に、親子の会話作りに、そしてウォーキングの応援にと忙しいながらも幸せな日々を過ごしたアジサイ達。しかし猛暑の今、水大好きなアジサイはもうくたくたの状態です。頼みは「あじさいを咲かせる会」の皆さんが届けてくださる愛情たっぷりのペットボトルのわずかな水。しかし、近くに水道設備がないため、会の皆さんも重労働です。

「アジサイ一本里親制度」を導入して、ボランティアが育てているアジサイは現在400本近くなりますが、一本一本にドラマがあり、育て方もそれぞれ。闘病の身でありながら、生きる希望をアジサイに託されていた今は亡きTさん。孫の成長をアジサイとともに楽しまれるKさん。病後のリハビリ・健康のためにとせつせとお世話をされるYさん、Hさん。緑を増やそうと、組織全体で取り組むガールスカウト、あまりお見かけしない方がこっそりと、と思いはそれぞれのようですが、アジサイを通して地域の和が広がっていることは確かです。

会の「気負わず、できるときに、できることを」、こんな気楽さがボランティアの長続きの秘訣かもしれません。

それにしても
雨がほしい!





6月定例会で取り上げた問題（一部）

2つのワクチン接種について…

最近大きな問題となった二つのワクチン接種について市の姿勢を質し改善を求めました。

①風疹についてですが、ワクチン接種を受けておけば殆ど予防できると言われており、1万人規模の患者が出ている現状は先進国では考えられないものです。また、妊娠初期の女性と胎児に与える影響から厚生行政の不作为とも言われる問題であり市が出来る対策を取るべき。

②子宮頸がんについてですが、子宮頸がんは性交渉で感染するがんの一種です。ワクチン接種でその一部の種類には有効とされていますが定期検診が不可欠です。今回、このワクチン接種で失神や歩行不能など重篤な症状の副作用が高い確率で発生しています。今回問題としたのは、このワクチン接種について児童・生徒に必要な教育や保護者に対する正確な情報提供を結果として出来ていない事を問題としました。

①②とも国からの機関委任事務だからと言って事務的に処理するのではなく、守るべきは市民の生命や安心・安全であり、細心の注意と最善の努力で取り組むべきだと提言しました。これに対し市は、教育的配慮や正確な情報提供に努めるとの答弁がありました。

「教育審議会答申」にどう応える？

豊中市の校区問題は複雑極まりないものとなっています。1つの小学校から1つの中学校へ、5つの小学校から1つの中学校へ、中には同じ小学校を卒業しても別々の中学校へ通うケースなど町内を分断する状況も存在します。

このように複雑な状況になってしまったのは、高度成長期に急速に拡大した開発や児童・生徒の急増が考えられ、教育委員会が対応しきれなかった同情すべき点もあります。

しかし、現在もその状況を引きずっている背景には、批判を恐れず言わせていただければ、一部の地域エゴ、声高な圧力や抵抗勢力(市全体の利益を考えず、一部の声の代弁者となった議員など)の存在とこうした動きや圧力をコントロール出来なかった教育委員会、結果としての現状を追認してきた我々議員にも責任の一端があります。

教育は国家百年の計であり、「人こそ豊中の財産」は言うまでもありません。教育委員会は大局的見地に立った今回の教育審議会答申を真摯に受け止め、豊中市の公教育、児童・生徒全体の利益のために固い決意と覚悟をもって改善に取り組んでもらいたい。(詳細はブログ記事で)

照明のLED化で大きな成果

今では誰もが知ることとなった照明のLED化に私は率先して取り組んできました。LED化することで省電力、長寿命化、維持管理費やCO2の削減効果などが期待できます。これまで庁舎や一部の街路灯などで実証してきましたが、今回、豊中市内の道路照明や街路灯2.4万灯の内2万灯が私が提言してきた一つであるリース方式により全面改修することとなりました。

また、遅れていた教育委員会所管(学校、体育館、図書館等)施設についても順次進めていきます。この施策を進めることで財政負担の軽減や環境に対する負荷の軽減にも貢献することとなります。

・・言いたい放題・・

中韓両国の日本に対する対応が激しさを増している。政治家の言動だけではなく、スポーツの世界でも常態化し始めた。さすがに度を越えた活動には国際的な批判とともに、自国の一部マスコミにも自製の論調が出てきた。

しかし、国内矛盾や経済の先行きなど両国の抱える国内事情からすぐに鎮静化するとは考えられない。何せ困ったときには「反日」を唱えれば国内求心力が働く国柄で、一方的な反日教育の怖さがここにある。そうした中で在日コリアンの多くが冷静な対応なのが救いだ。日本人も過剰反応せず大人の対応が必要だ。